

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改憲阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp

HPサイト http://www.kenpoukaigi.gr.jp

第295号

2011年7月5日

Tel 03-3261-9007

Fax 03-3261-5453

民主党 衆院比例定数削減に執念、自民党も対案

7日民主党政治改革推進本部総会で議論再開

法案を提出させない世論と運動が急務

民主党は7月7日、全議員対象の「政治改革推進本部総会」を開き、岡田克也幹事長らがまとめている「改革案」を説明、議論しようとしています。

民主党「改革案」は「21増21減」と比例定数80削減 民主党の「改革案」は、岡田幹事長らが3月下旬にまとめ、確認したもので、「一人別枠方式」を廃止し、東京、埼玉、神奈川、千葉、愛知、大阪などで増やし、東北や四国、南九州などの各県で減らす「21増21減」と比例代表の定数を80削減するもので、岡田幹事長らは今国会への法案提出をめざしています。

自民党も比例定数30削減を提案 自民党は5月、「一人別枠方式」を維持し、5県の小選挙区を各1減、比例代表の定数を30削減する対案をまとめています。

また、中断しているとはいえ、政府の衆院議員選挙区画定審議会も3月から、小選挙区の10年ごとの区割り見直しに着手しています。

「一票の格差」問題での最高裁が違憲状態としたことや、国会が8月末まで延長されたことなど、定数削減を促進する条件は整ってきています。

13日の国会行動や草の根での学習や宣伝、署名などの取り組みを急速に前進させ、法案を提出させない活動の促進が強く求められています。

院内集会&議員要請（11団体が呼びかけ）署名の集中を！！

7月13日(水)午後2時15分開会(午後2時開場) 衆院第2議員会館第1会議室

詳細は別添の「チラシ」をご覧ください、増し刷りするなどしてご活用ください。

※6・9比例定数削減反対大集会特集『月刊憲法運動』7月号好評発売中！

市田忠義共産党書記局長国会報告／渡辺治一橋大学名誉教授の講演／8団体代表のリレートーク／集会アピール

「震災と憲法—自治体と自治体労働者の役割と課題」（自治労連・柴田英二、角田英昭）も収録

特別定価 500円(2~9部単価 450円、10部以上 400円)(送料別)

※街頭宣伝に、軒先に、**比例定数削減反対「のぼり」**(800円・送料別)も販売中

※ブックレット「**国会議員定数削減と私たちの選択**」(2刷突入 新日本出版社刊 500円)

《お申し込み、お問合せは⇒憲法会議へ》